

施設名	宮崎県福祉総合センター及び県立母子・父子福祉センター
指定管理者	(株)文化コーポレーション
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	福祉保健部 福祉保健課

1 施設利用状況

指 標	H30	H29	H28	増減理由等
会場利用状況(人)	82,950	83,780	85,360	H28年8月に演習室をなくした影響による利用人数の減少。 H26年度に駐車場を整備、また研修主催団体において交通整理員を配置し駐車可能台数が増加している。 天候が良好の日が多かったため、交通遊園の利用者が増加している。
会場利用状況(回)	3,984	4,015	4,213	
交通遊園利用状況(人)	11,201	9,263	8,755	
交通指導状況(団体)	31	27	47	
交通指導状況(人)	2,013	2,049	2,843	
コメント	今後も、駐車台数調整を行いつつ、自主事業開催や施設のPR活動による利用者数の増加を図る必要がある。			

2 施設収支状況 (単位:千円)

収 入	H30	H29	H28	支 出	H30	H29	H28
指定管理料	52,090	53,199	53,299	人件費	9,343	10,012	10,397
雑収入	89	111	133	光熱水費	12,690	12,363	11,768
				委託費	19,760	19,362	19,298
				雑費	4,802	5,002	5,696
合 計(①)	52,179	53,310	53,432	合 計(②)	46,595	46,739	47,159
収支差額(①-②)	5,584	6,571	6,273				
コメント	H27委託料から施設の修繕経費を294万円とし、指定管理者実施としている。支出について経費節約に努める一方で、施設の運営については特に支障なく実施されている。						

3 管理運営状況 ※下線部分は、平成30年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清 掃 日常清掃、全館床ワックス清掃、ガラス清掃、交通遊園・駐車場清掃、建物外周環境整備
	保守・点検 電気設備、空調設備、給排水設備、環境衛生設備、消防用設備、エレベーター、自動扉開閉装置等
	警 備 常駐警備(本館)、機械警備(人材研修館)
	修 繕 安定器交換、ブラインド修理、汚水槽ブローワー修理、水銀灯安定器交換、音響電源回路修理、児童交通遊園側溝補修、本館1階身障者用トイレ修理
	備品等管理 備品検査
	安全対策 事故・緊急事態対応規定に基づく従業員教育、施設内日常巡回、施設遊具の安全点検、防火訓練の実施等
	そ の 他 草刈、樹木・花壇管理(剪定・花植替)
企画運営業務	サービス提供体制整備 会議室利用促進のためのホームページ運営(予約状況確認可)、利用者満足度調査の実施、利用者の声ボックスの設置等
	イベント等ソフト面充実 自主事業セミナー(ヨガ教室、フリーマーケット等)の実施、児童交通遊園での交通安全指導業務等、蒸気機関車の維持管理
	施設設備等ハード面充実 大研修室の音響設備の更新、非常用バッテリー及び非常用自家発電機バッテリーの交換
	そ の 他 入居団体事務局長会議の実施
管理運営体制	昼礼等による業務連絡等情報の共有化
コメント	協定書に基づき、適正な管理が図られている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	施設利用者・団体に対するアンケート、利用者の声ボックスの設置
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
空調について空気の入換えが必要と感じることがある	会議の休憩時間等に窓を開閉するように依頼
台風後「公園周辺の歩道を至急清掃して」との苦情があった	苦情があった時には、清掃を開始していた

5 総合評価

評価コメント	保守点検等の維持管理業務や自主事業等の企画運営業務は確実に実施されており、利用者満足度調査における結果も良好であり、概ね適正に管理運営されている。
今後の課題と対応	福祉目的の施設であることから、徹底した安全管理対策を行うとともに、自主事業内容の充実を図る。また、利用促進に向けてのPRや駐車台数制限に係る案内方法の工夫等を行い、利用者の増加を図る必要がある。